

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービスいるか			公表日		2026年4月30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		支援室は広く確保できている			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用人数によって調整している 看護師を配置			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		障害の特性に応じてエレベーターを使用	静と動の環境がつけられるよう工夫している		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		窓が少ないことを考慮し定期的な換気に気をつけている			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウンをするスペースや 個別のブースで宿題を取り組める様にしている	広い部屋を区切り個人ブースを作る		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		ミーティング時に前日の振り返りを行い、当日の計画に組み入れている			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向けのアンケートを取り環境改善や支援内容に反映している			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員の自己評価も行い運営に反映している。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		自立支援協議会・南区子ども部会学習会などに参加し月例会議等に反映している			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムの定期的な見直しを行い、ホームページで公表している			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		デイサービスで評価した内容を伝え保護者アセスメントをおこない個別支援計画を作成			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		デイサービス計画作成は支援者全員が参加し、月例会議等で検討し共通理解をしている			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		日々のミーティングで計画支援が出来るよう前回の振り返り、情報共有を図っている			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		個別支援時に半期の評価を行い、保護者からの評価を聞き日常的にメール、電話などで情報交換などを行っている			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		本人支援は連絡帳を通して伝えているが、家族支援は個別に、送迎時に相談・電話での相談支援を行なっている	自立支援協議会・子ども部会への参加。ガイドラインの4つの基本活動の内容を具体的支援に取り入れる		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		月例会議時に活動プログラムを検討している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		ミーティングの振り返りを行い固定化しないように取り組んでいる	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		日案作りに取り組んでいる	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		職員間で振り返りを行い情報共有している。日々の職員の共有ノートを使っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日誌に評価記入欄を設けている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月に1回のモニタリングと児童の発達に即した見直しをしている	定期的なモニタリングを行い、日常の支援に反映していく
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		土曜開催時でのクッキングメニューの決定はリクエストを取り入れている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎時や電話などで情報共有を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		日常の送迎時に、学校との情報共有は行っている	入所・卒所時の申し送り書などの取組み
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		卒所し移行するにあたっての情報伝達が不十分	障害福祉サービス事業所へ移行する時の申し送り書など、他の関係会議に参加し情報を共有
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			地域の子ども活動センターなどの活用は行っており、これからも活動参加の機会を多く
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		研修会等に参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		必要に応じて保護者との情報共有を行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		個別の家族支援は行っている	困難をかかえている保護者の相談にのり、よりよい支援につなげていけるよう進める

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時には丁寧な説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		送迎時に児童デイサービスの様子を説明し、家庭での様子を聞いている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		児童の利用している児童会館と保護者と連携を取り内容共有して支援をしている	
	40	文芸の会の活動を支援することや、保護者会等を開催することにより、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			コロナ後の取り組みが中断しているが、保護者同士の交流の機会を設けていく
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		迅速に対応ができるように児童デイサービス専用の携帯電話にて対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		連絡帳を通して情報共有をし、必要に応じて訪問や電話での情報交流を行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域の子ども食堂との交流活動などに取りくんでいる	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		定期的な訓練、家族への周知を行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に火災・地震などの避難訓練を行い消火器などの使用訓練を実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		お薬依頼書を提出してもらい、服薬は看護師の確認のもとで行っている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		おやつ食事などでは一覧表を作成し、確認しながら行っている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		マニュアルを作成し、飛び出さないことやドアに指を挟まないなどの対策支援を行って	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		災害にあった場合の保護者に帰すまでの計画が出来ていない 実施後の内容は知ら	計画書の作成を行ない保護者への説明を行う
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		事業所全体・部門月例会議の時に研修を取り入れている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			対象になる児童はいないが他害、自傷行為などが発生する事も想定しサービス計画に記載し保護者説明を行う